

基本方針

NHKテクノロジーズ 2021～2023年度 経営計画

NHKテクノロジーズは統合から2年、ここまで着実に業績を確保するとともに、企業文化の融合を図り、「放送・メディア技術に関する第一級のプロ集団」になるための基盤構築に全社で取り組んできました。組織改正により、デジタル開発技術本部を新設し、ファシリティ技術本部、メディア技術本部の3本部体制とするなど、メディア環境の変化に的確に対応できる「構え」も整えてきました。また、統合を機に大会社にふさわしいコーポレートガバナンスや内部統制の仕組みを整え、コンプライアンスの推進にも力を注ぎました。この3か年で目指すのは、これまでの成果を基礎に、更なる成長に確実につなげていくことです。

NTを取り巻く環境変化

私たちを取り巻く環境は、予想を超えるスピードで変化しています。インターネットサービスの進展や、5GやAI、クラウドなどの技術革新は、社会の仕組みさえも大きく変え続けています。また、NHKでは、2021年度からの経営計画で、長期的な減収予想の下、“新しいNHKらしさ”をキーコンセプトに、事業規模の適正化を図り、「スリムで強靱」なNHKグループに生まれ変わる大胆な改革が動き出しています。

NHKテクノロジーズにとってこの3か年は、こうした大きな時代変化の中で、NHKの改革に伴う事業規模の縮小や新型コロナウイルスの影響により、売上が大きく減少するかつてない厳しい経営環境が予想されます。

収支構造の変革と成長分野への挑戦

この先も着実な事業継続を図り更なる成長を目指すためには、私たち自身も更に大きく変わる必要があります。経営資源の選択と集中や、経営効率化による収支構造の見直しを大胆に進め、確実に利益の出る企業体質に早期に転換しなければなりません。

そして、激変するメディア環境にも対応可能な技術力・開発力を磨くための人材投資、開発投資に経営資源を振り向けます。各部門の専門性を結集することで、統合効果を生かした強みを確立し、ITなど新たな成長分野への挑戦も積極的に推進します。ポストコロナ時代を見据えた新しい働き方を実現する制度改革や環境整備も積極的に進め、社員が健康で、創造力を発揮出来る職場作りにも早急に取り組めます。

“なくてはならないNT”への着実な進化

これにより、「クオリティ」優先の、より高度で専門的な技術力で、NHKの「公共メディアへの進化」と「新しいNHKらしさ」を確実に支えていきます。同時に、その技術力を生かして全社をあげてNHKグループならではの社会貢献を更に推進し、NHKにとって欠かせないNT、地域やメディア社会からより頼りにされるNTへと着実に進化することを目指します。

私たちNHKテクノロジーズにとってこの3か年は、かつてない厳しい経営環境の下、社員が将来に希望を持てる、「なくてはならないNT」であり続けるための存在意義をかけた“挑戦”と“改革”に、全社一丸で取り組む3か年と位置付けます。